

幸せになるための地域経済

もはや、一刻の猶予も許されない地球環境の激変

駒宮博男

NPO法人地域再生機構理事長 他

今日は、地域経済だけでなく、
広い意味でこれからのあるべき経済活動の話をしていきます

あるべき経済活動の根本は

- ・ 地球を浪費しない経済
- ・ せめて孫までは持続可能な経済

今日の話は、「**そうならいいな**」というのではなく、
もはや、**そうせざるを得ない**、**経済の話**です

まず押さえたい世界の現状

ドーナッツ経済学が明らかにしたこと

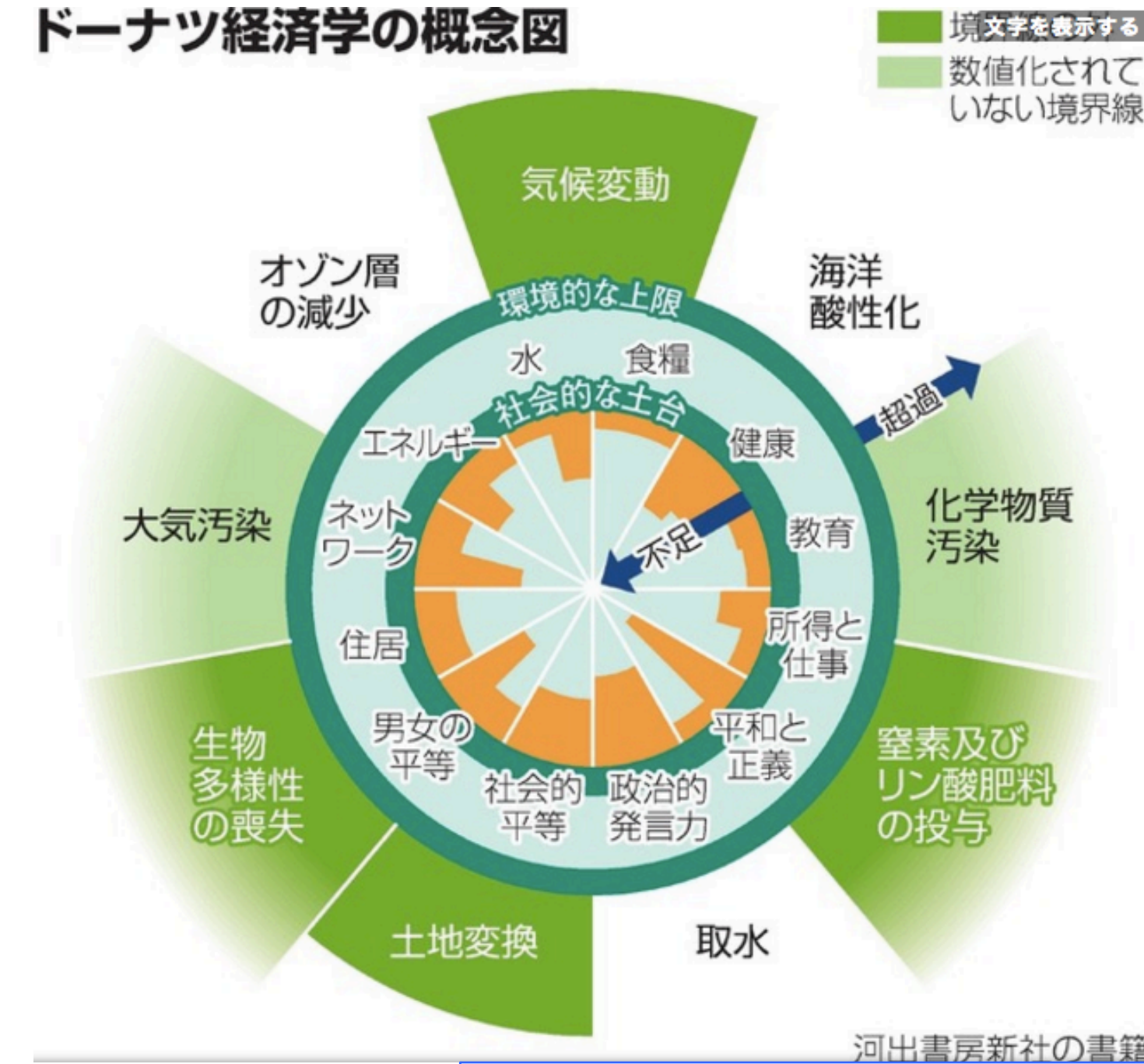
今まで近代文明が作り出した「幸せ」観を一変せざるを得ない最大の「不都合な真実」

『ドーナツツ経済学』（ケイト・ワラース）とは



NHKのサイトより

ドーナツ経済学の概念図



河出書房新社の書籍

朝日新聞のサイトより



NHKのサイトより

Leeds大学は、何をやったか

- ケイト・ワラースのドーナッツ経済を少々改変し、世界各国の状況を分析
 - ワラース自身、“地球規模”ではなく、“地域規模”の状況把握の必要性を説いている
- ただし、Leeds大学の目的は、英国政府に対するコロナ禍の政策提言
 - このスライドでは、この部分は言及しない

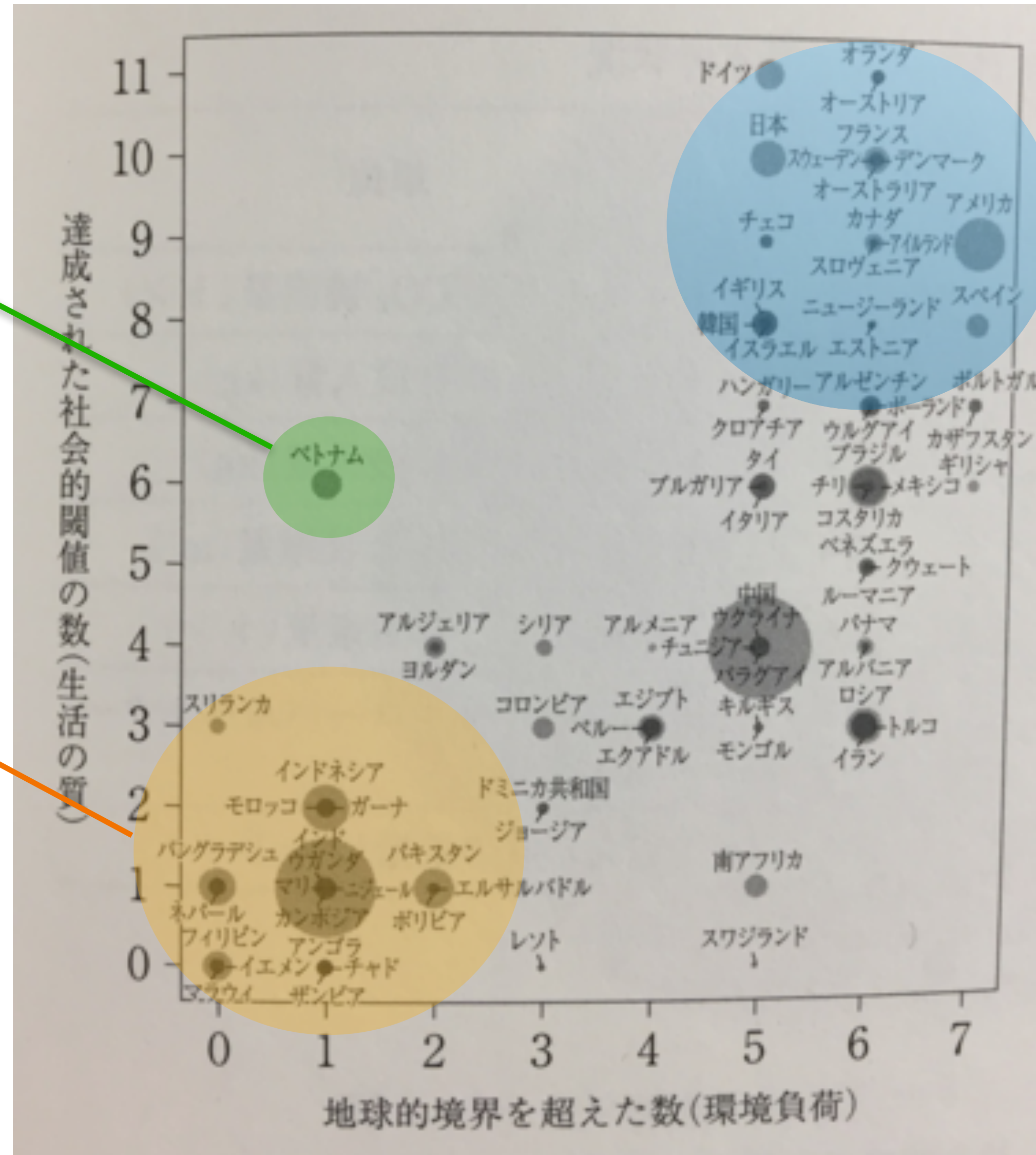
資源を浪費すると、国は豊かになる？！

(University of Leedsの分析結果を基に (『人新生の資本論』 (齊藤浩平) より))

ベトナムだけ
外れている

途上国群

先進国群



環境因子と社会因子の境界条件

Biophysical Indicator	United Kingdom	Sri Lanka	Per Capita Boundary	Unit
CO2 Emissions	12.1	1.1	1.6	tonnes CO2 per year
Phosphorus	5.2	0.1	0.9	kilograms P per year
Nitrogen	72.9	1.9	8.9	kilograms N per year
Blue Water	240	405	574	cubic metres H2O per year
eHANPP	2.4	1.5	2.6	tonnes C per year
Ecological Footprint	4.2	1.2	1.7	global hectares (gha) per year
Material Footprint	24.3	3.2	7.2	tonnes per year

eHANPP : 廃棄物も含めた農業・林業からの生産量

Social Indicator	United Kingdom	Sri Lanka	Threshold	Unit
Life Satisfaction	6.9	4.2	6.5	[0-10] Cantril scale
Healthy Life Expect.	71	64	65	years of healthy life
Nutrition	3414	2488	2700	kilocalories per capita per day
Sanitation	100	91.1	95	% with access to improved sanitation
Income	100	98.3	95	% who earn above \$1.90 per day
Access to Energy	100	88.7	95	% with access to electricity
Education	92.8	99.1	95	% enrolment in secondary school
Social Support	94.9	84.2	90	% with friends or family they can depend on
Democratic Quality	0.8	-0.6	0.8	Democratic Quality Index
Equality	65.2	58.5	70	[0-100] Scale -> (1 - Gini Index) * 100
Employment	92.2	95.8	94	% of labour force employed

Secondary school : 中等教育

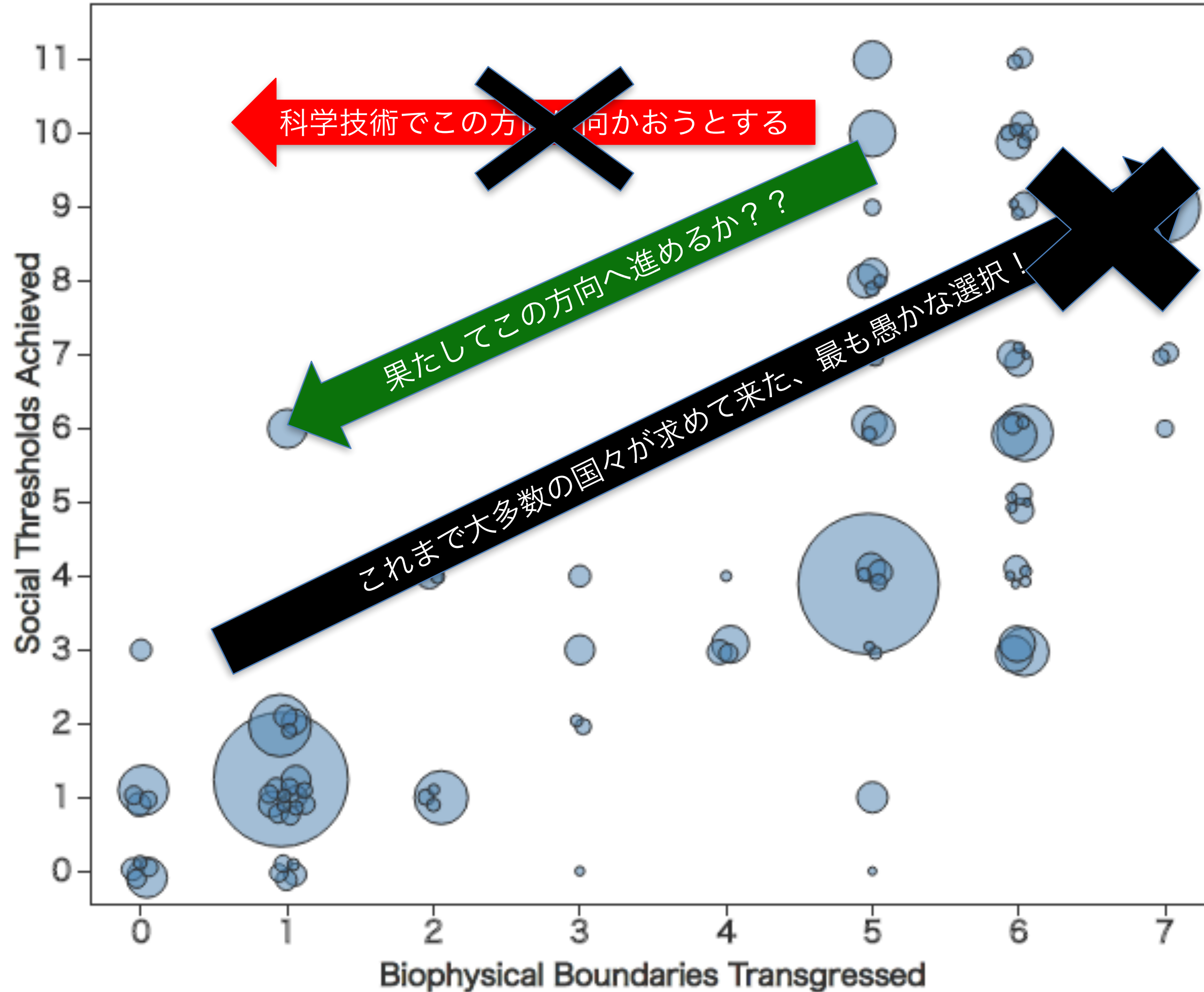
Gini index : 0で完全平等、100は最悪

(出典) goodlife.leeds.ac.uk

Biophysical Boundaries Transgressed versus Social Thresholds Achieved by Nation

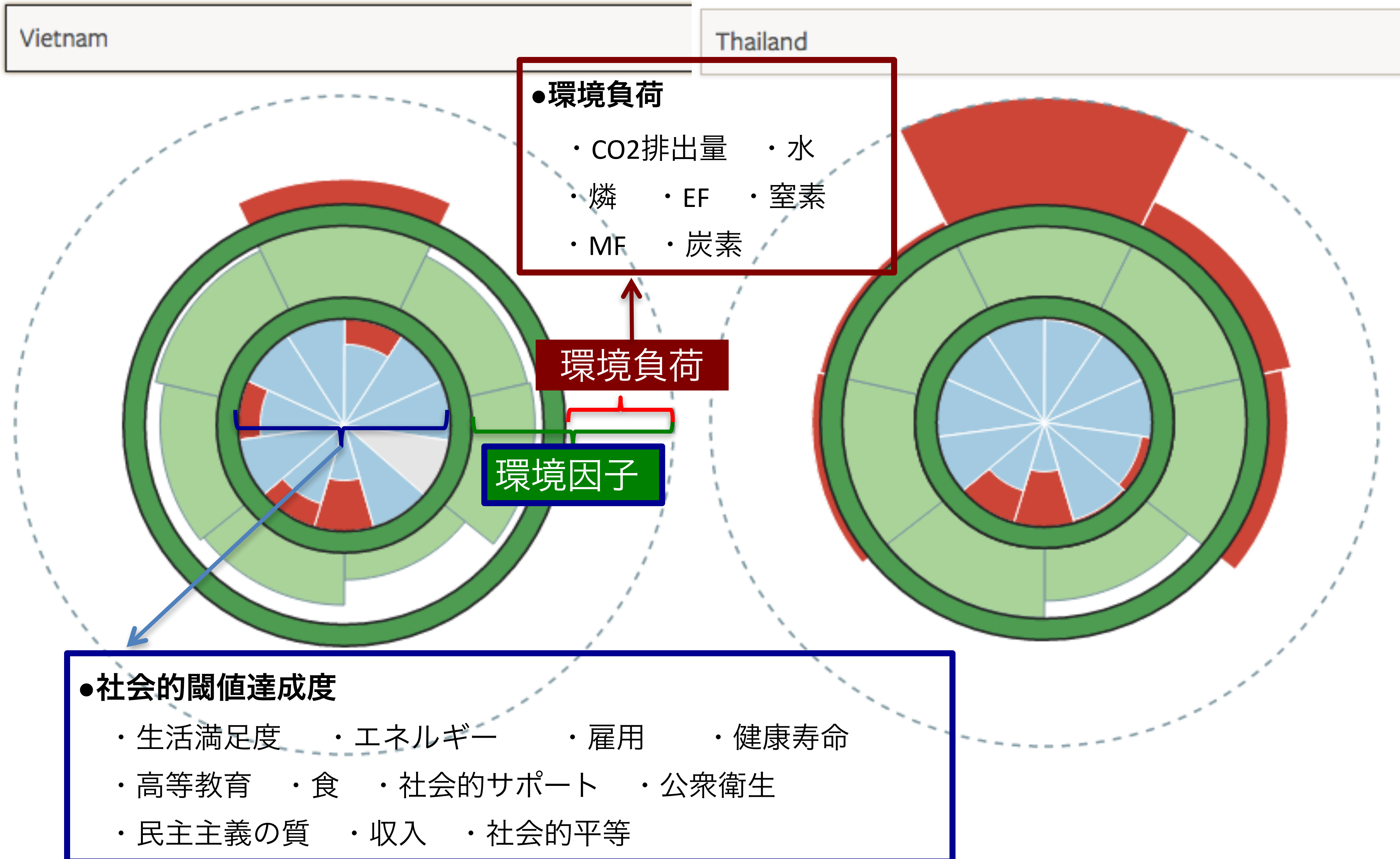
Prevent overlapping points

Show country labels



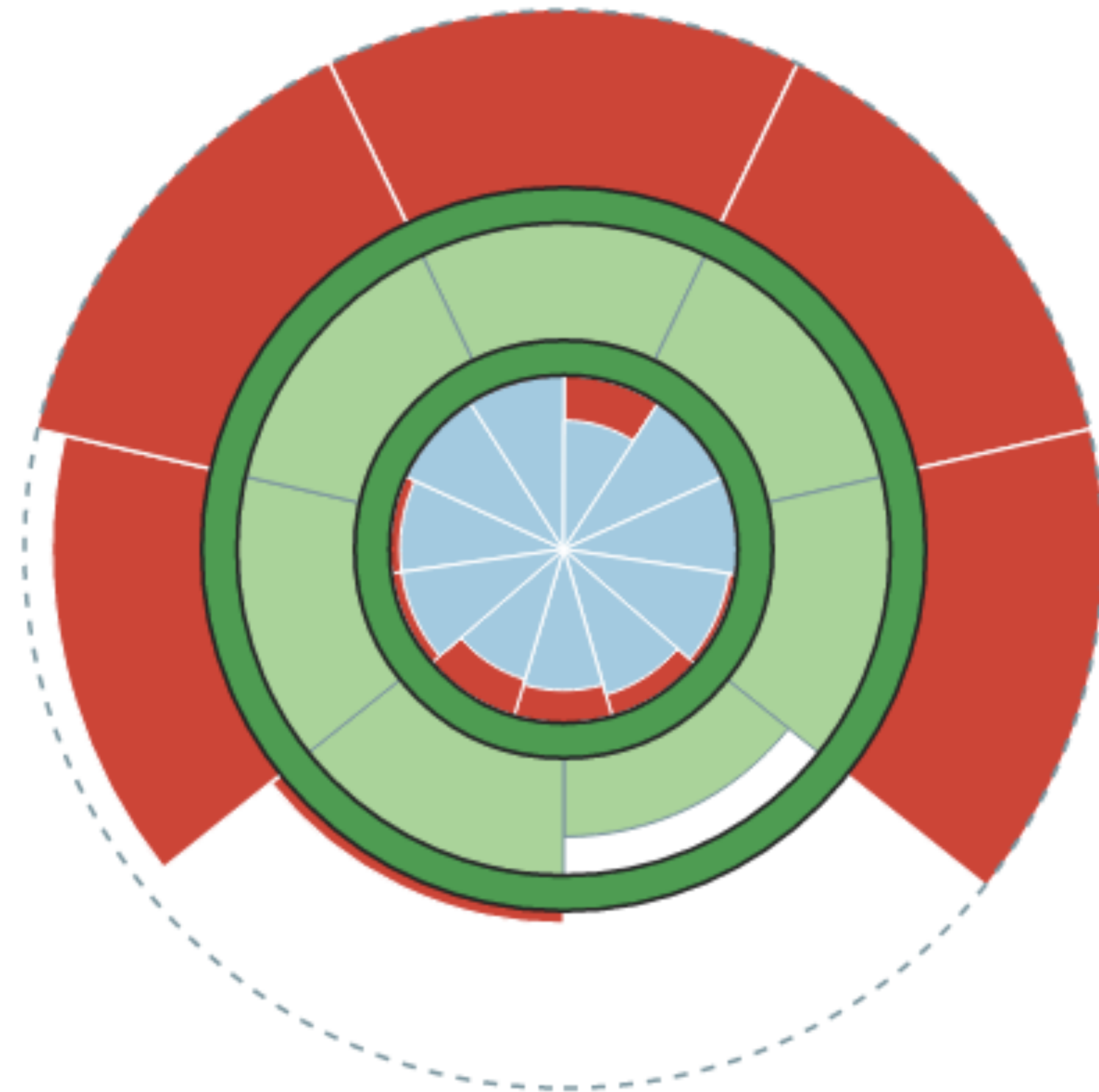
Swaziland
Sweden
Switzerland
Syrian Arab Republic
Tajikistan
Tanzania
Thailand
Timor-Leste
Togo
Trinidad and Tobago
Tunisia
Turkey
Turkmenistan
Uganda
Ukraine
United Arab Emirates

各国の状況を見ると・・・（ましな例）

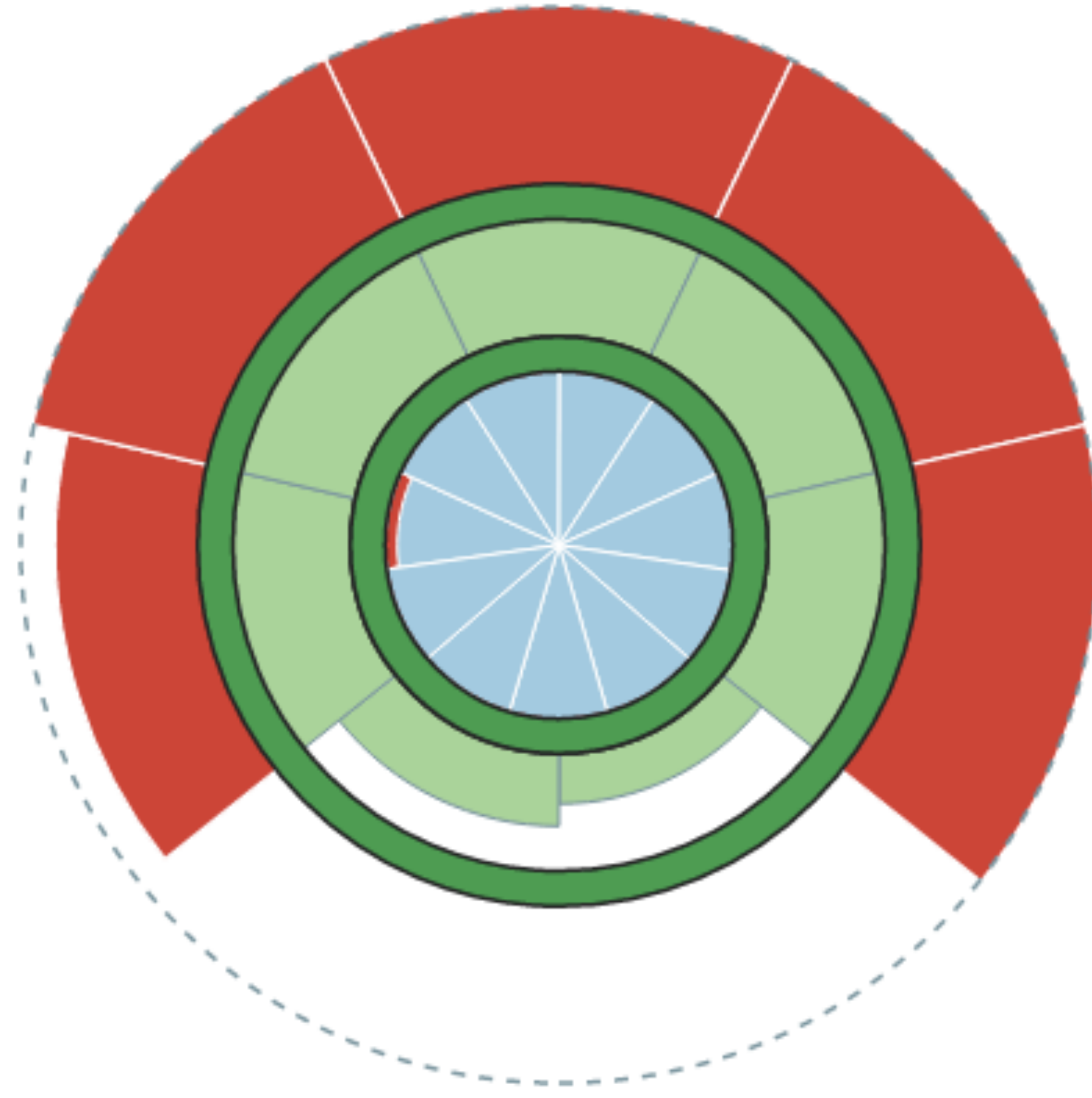


各国の状況を見ると・・・（先進国群）

G20

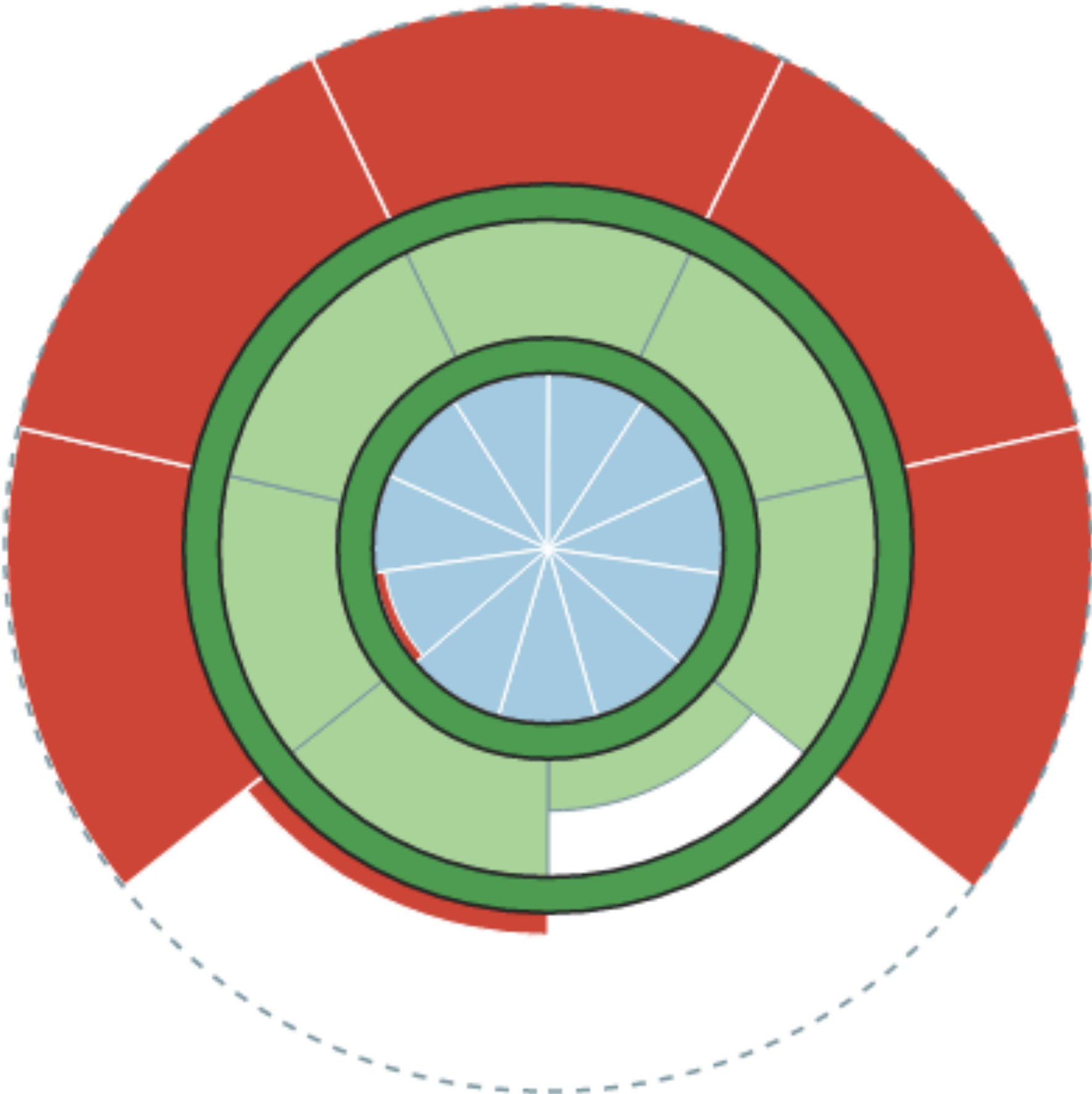


Japan

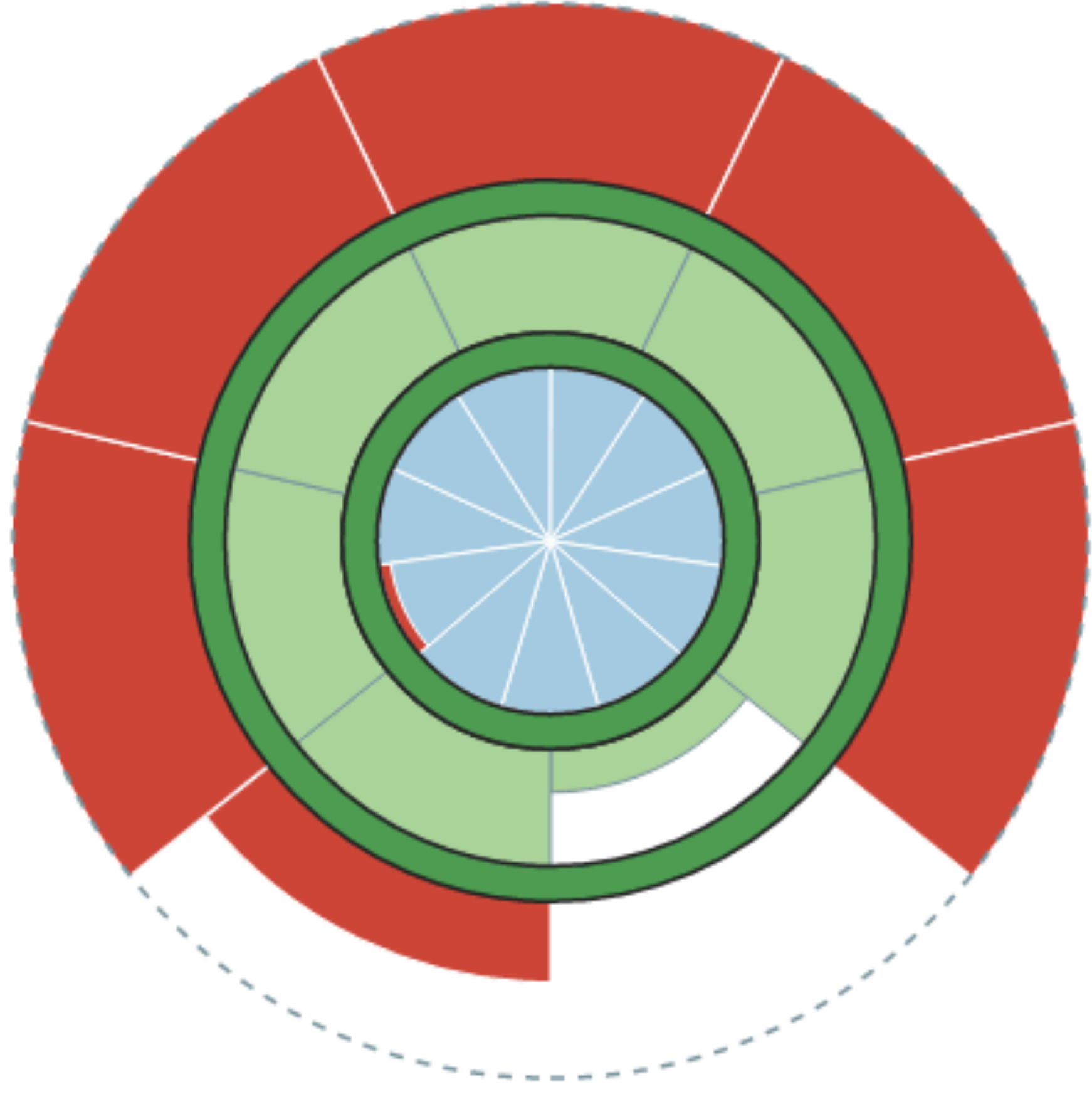


各国の状況を見ると・・・（幸福度の高い国）

Denmark



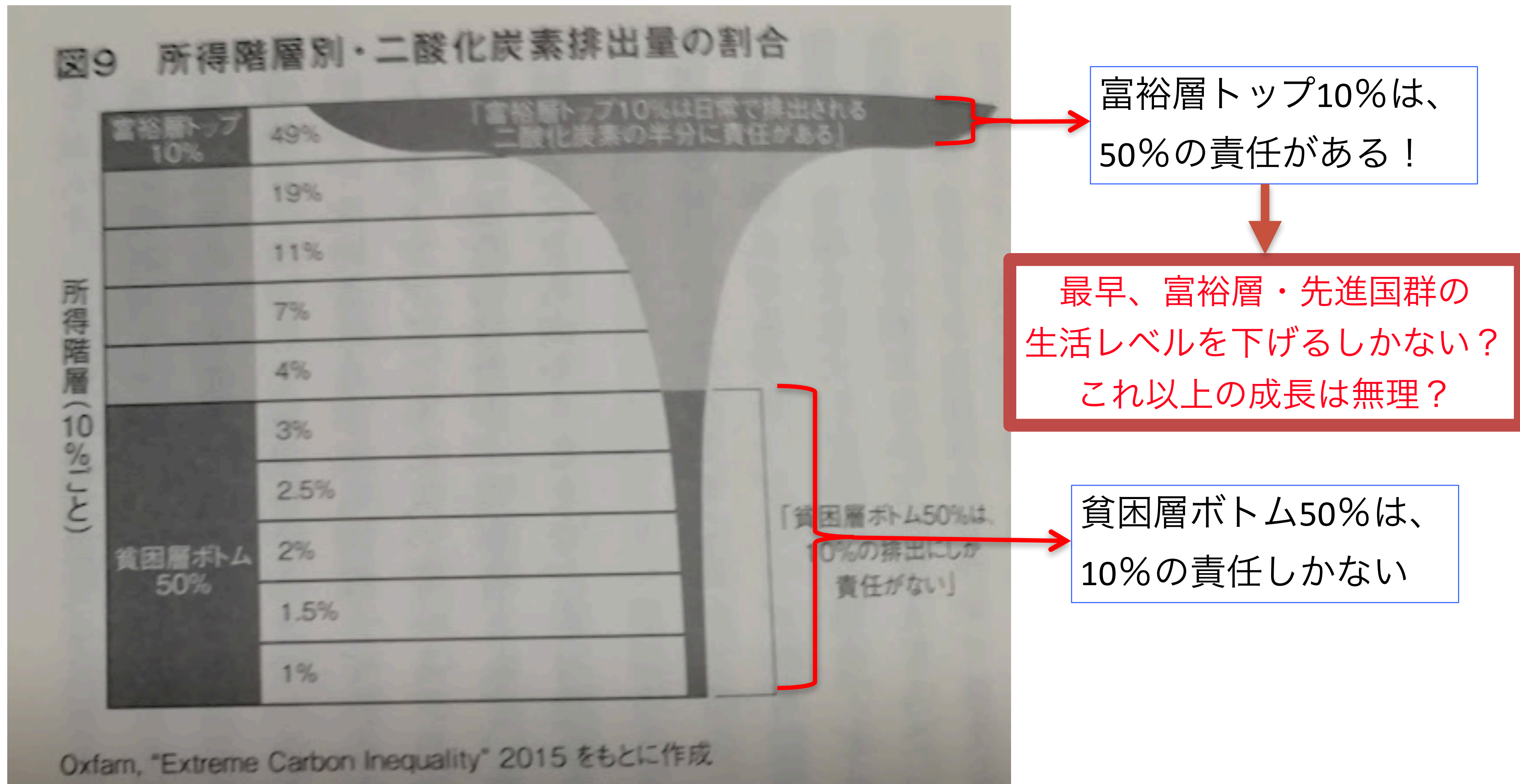
Finland



デンマークは世界的に見ても自然エネルギー先進国だが・・・

(参考) 2015年の所得階層別CO2排出量

(『人新生の「資本論」』 (斎藤幸平) より)



これまでの「幸福」は、まやかしだった！！

世界で一番幸せな国々（北欧等）は、
環境に（主に国外）巨大な負荷を与えながら、**国内だけ幸せに！**

世界全体がフィンランドやデンマークを求めたら・・・

先進国の物質的生活をこのまま続けることは絶対に不可能！

（エネルギーを全て自然エネルギーにしても、無理！）

持続可能で、国外に負荷をかけず、幸せになることは可能だろうか？？

今、日本の社会がやるうとしていることは・・・

**今までの生活（エネルギー消費）を継続し、
様々な科学技術で持続可能に！！**

でも、これは本当に可能なのか????

「核融合」が実現すると大丈夫という話はあるが・・・

それまでに人間社会は崩壊するかも????
(孫に、「死ね」と言っているようなもの)

(日本で) 持続可能な社会を求めるなら、
抜本的な**生活改革、社会改革、経済改革**が必要に！！

現状のエネルギー消費 \longrightarrow とりあえず目指すべき状態



例えば、今まで5年で捨ててたものを10年使う
 \rightarrow 生産量は、1/2に！！

自給、地産地消で、運輸輸送を1/2に

特に熱利用は、できれば
100%自然エネルギーで！

特に先進国は早急に生活・社会・経済を変革しない限り、人間社会は崩壊に向かうのでは??

エネルギー問題が万が一解決しても、特定資源に頼った新技術のための紛争は止まらない！

では、一体どうすれば良いのか？

生活・社会・経済の抜本的な改革とは、
具体的に何を示しているのか？？

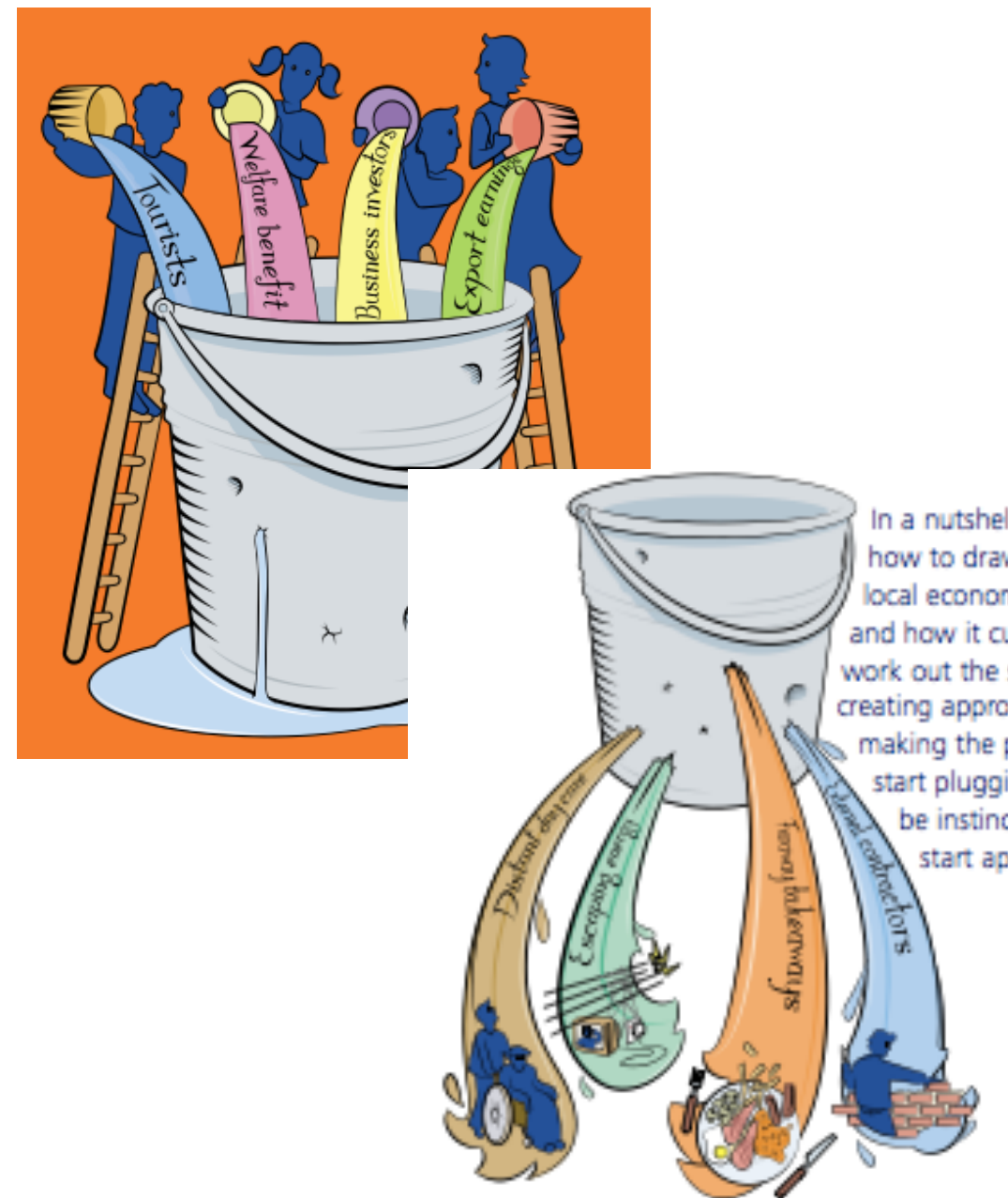
とりあえず、「買う」から「つくる」は、大変革につながる！

しかし、多くの人にとって、これを100%やることは不可能
個人でできない部分は地域で！（自給・交換・贈与、地域循環経済へ）

とは言え、地域経済は大変なことになっている！！

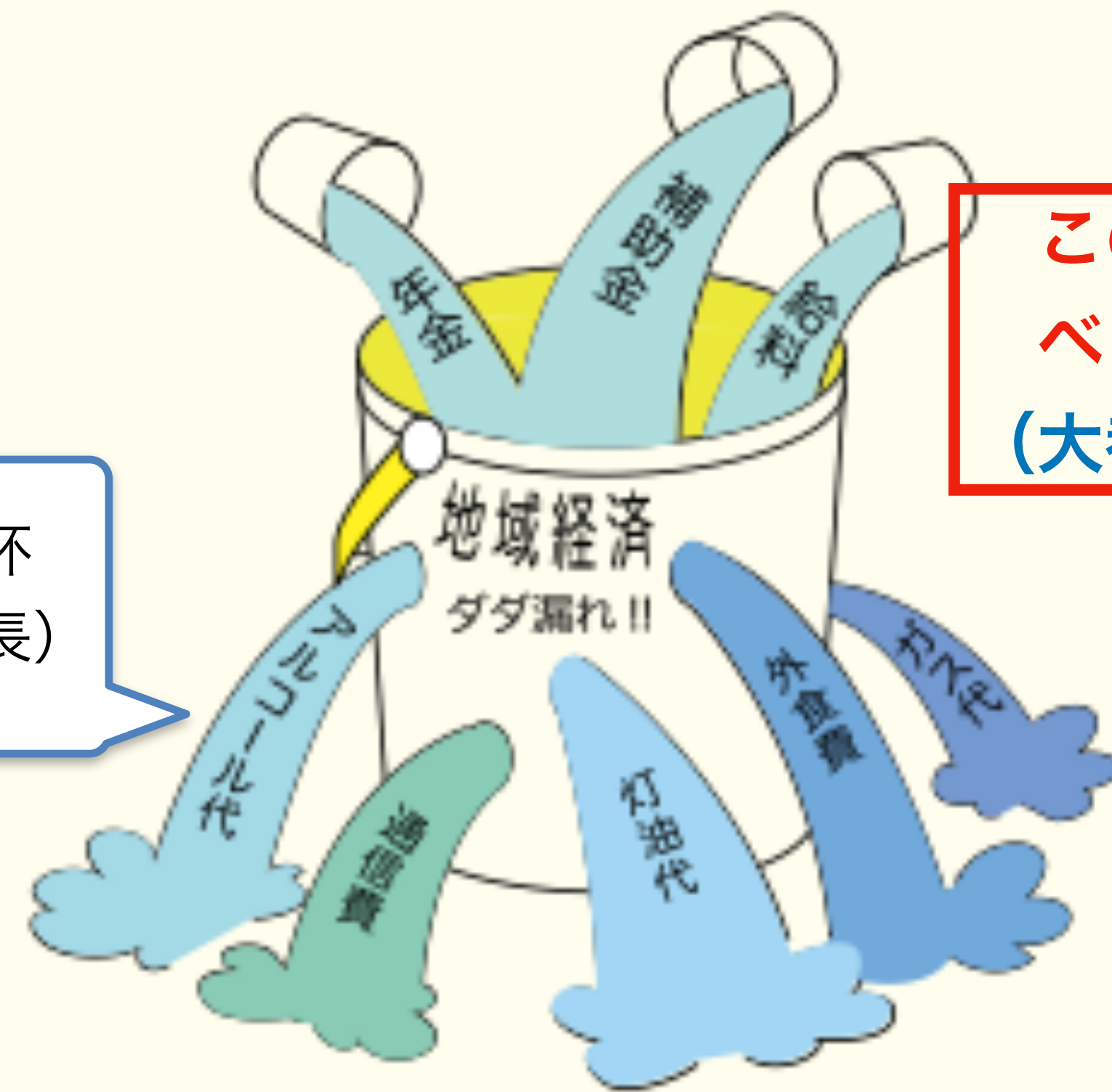
ここからは、地域経済の話です

地域経済 = 「穴の空いたバケツ」



原画 (NEF)

地酒で乾杯
(真庭市長)



この状態を肯定するならば
ベッドタウン化するだけ
(大都市周辺なら可能だが)

※ イメージはよく分かるが、
数値化されていない！

「穴の空いたバケツ」
このチャートのソースは、イギリスの "New Economic Foundation" が作成、藤山が農文協別冊で示し、それを基に作成したオリジナル

ここからは、
地域経済を論理化する方法

地域循環型経済とはどのようなものか

地域経済の“見える化”技術

(外部依存か、内部循環か)

- “LM3”を使った様々な経済主体の見える化
 - (1) 外部資本型 (企業誘致型) VS 地域資源利用
 - (2) 外国産大豆の豆腐 VS 地域産大豆の豆腐
 - (3) 全国チェーンのファミレス VS 地産地消型農家レストラン
 - (4) 高齢者福祉施設 外部人材型 VS 内部人材型
- 総務省データ、“LM3”等を使った見える化
 - (1) 企業誘致に成功した事例
 - (2) 食・エネルギー・住居・車の地産地消事例
 - (ツェルマットのEV会社：従業員数名、年20~30台製造)

※“LM3” : Local Multiplier 3 (地域経済の指標)

“LM3”による、地域経済分析（1）

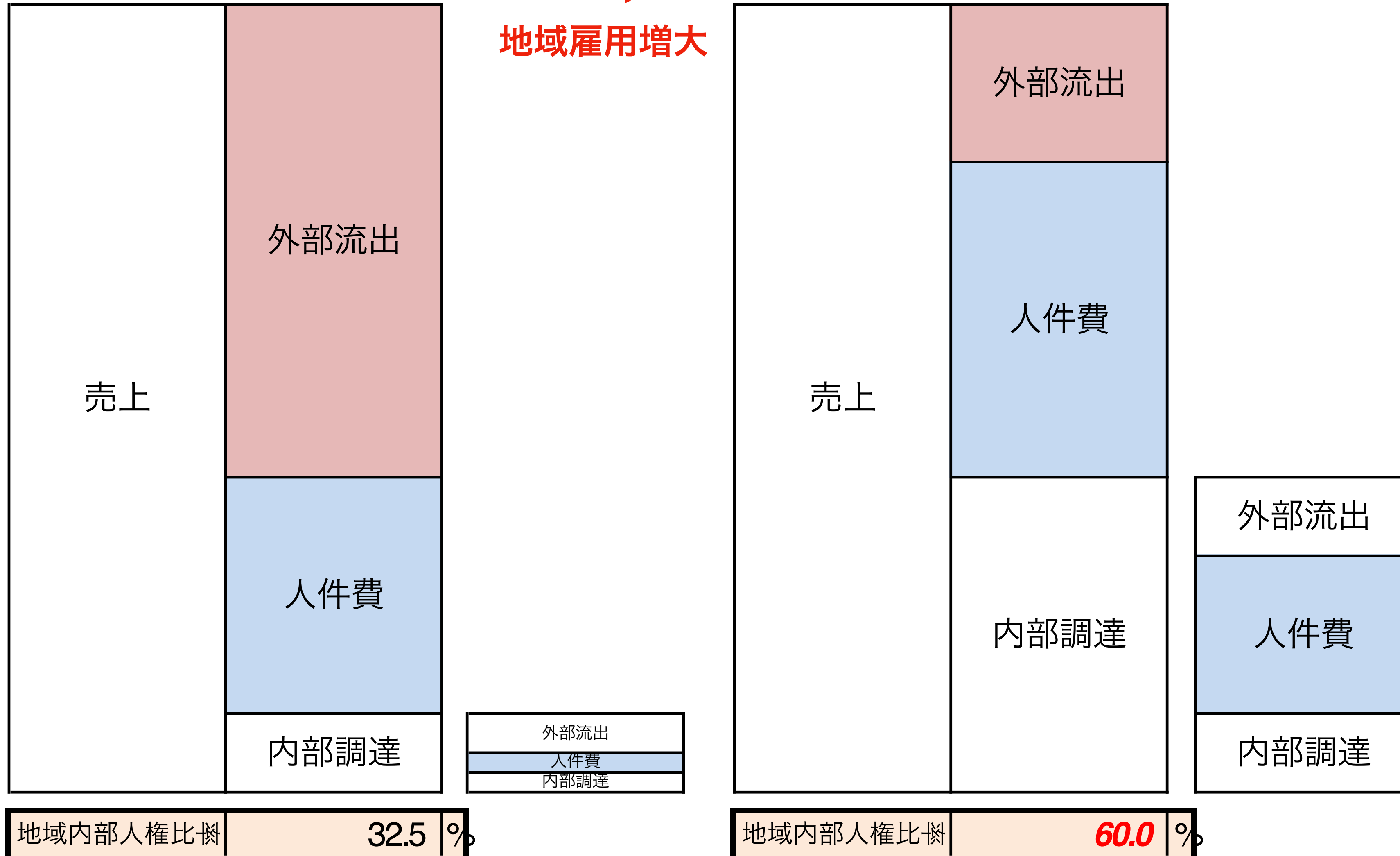
外部資本企業誘致の一般モデル

地域資源調達型企业



地域雇用増大

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40



“LM3”による、地域経済分析（2）

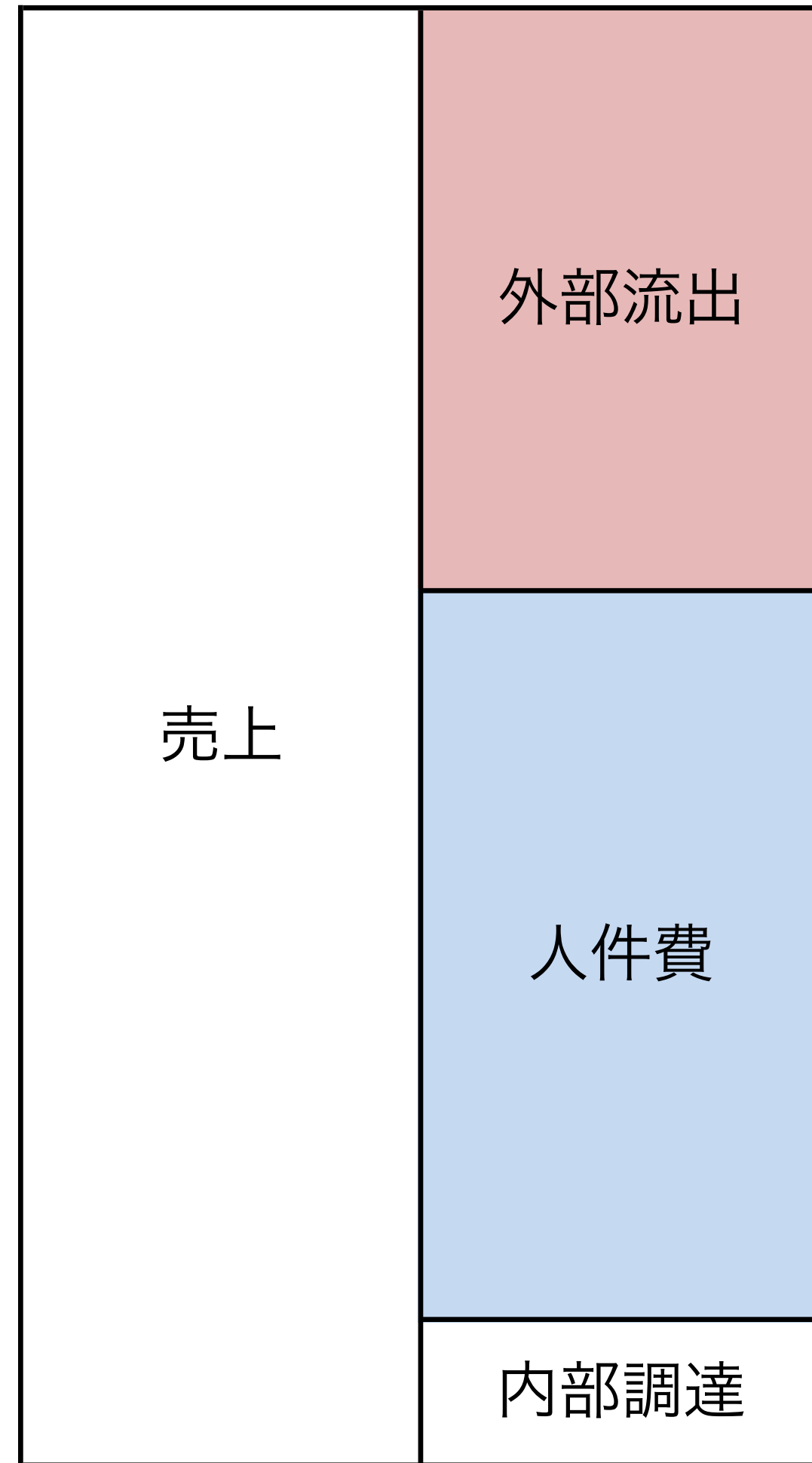
外国産大豆を使った豆腐屋



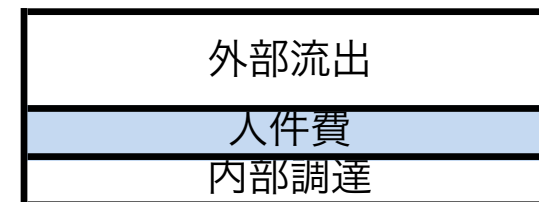
地元大豆を使った豆腐屋

地域雇用増大

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40



地域内部人権比割 52.5 %



地域内部人権比割 80.0 %



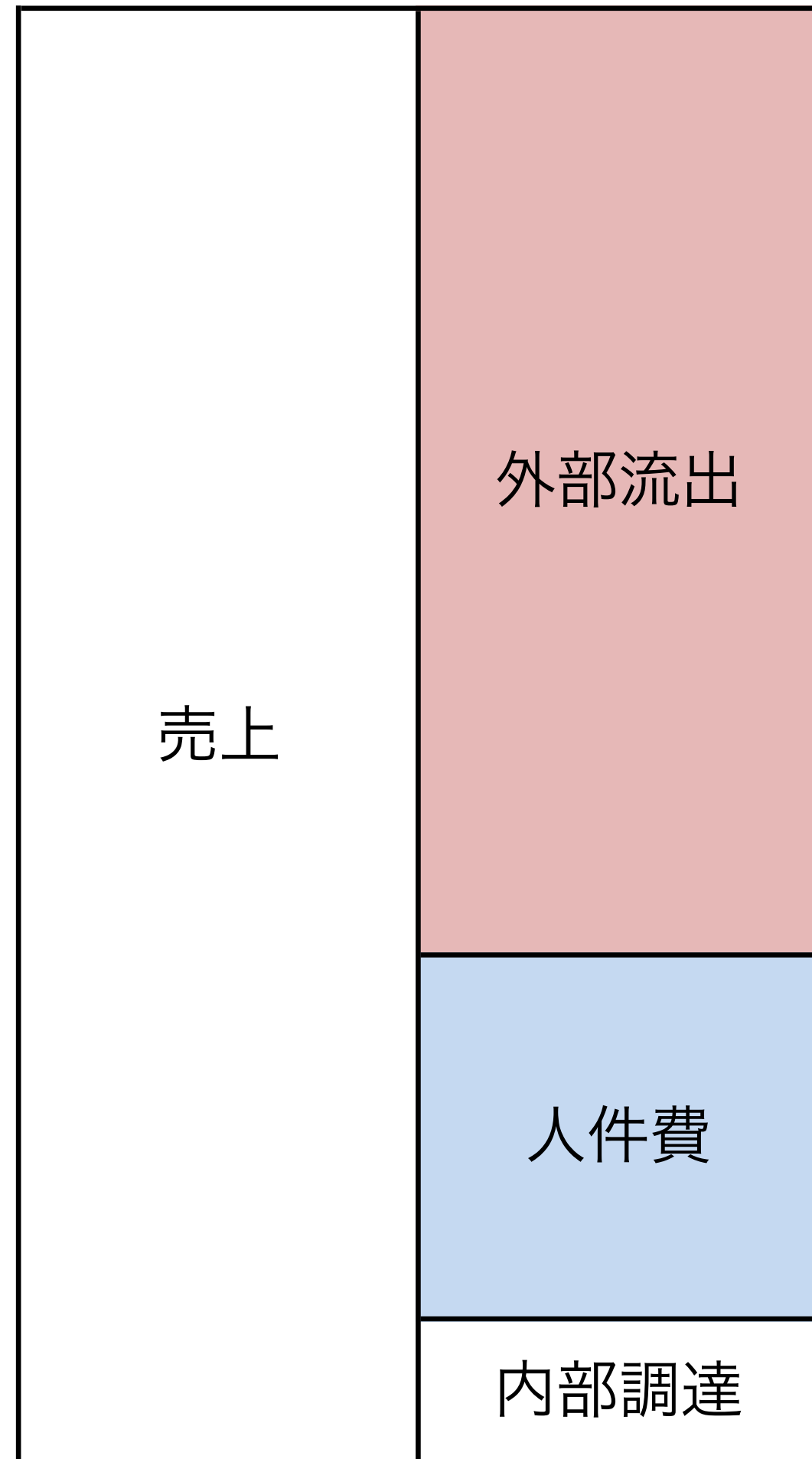
“LM3”による、地域経済分析（3）

外食チェーンのビジネスモデル

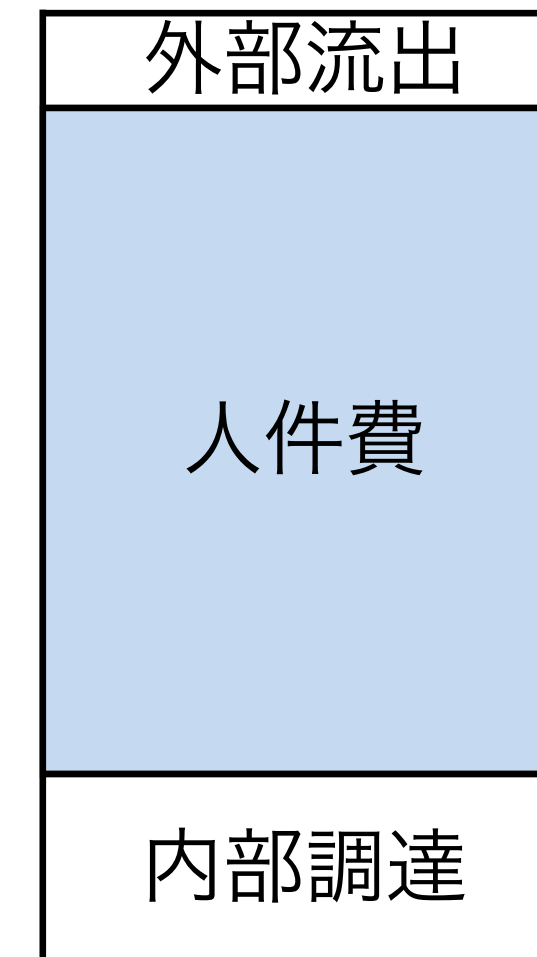
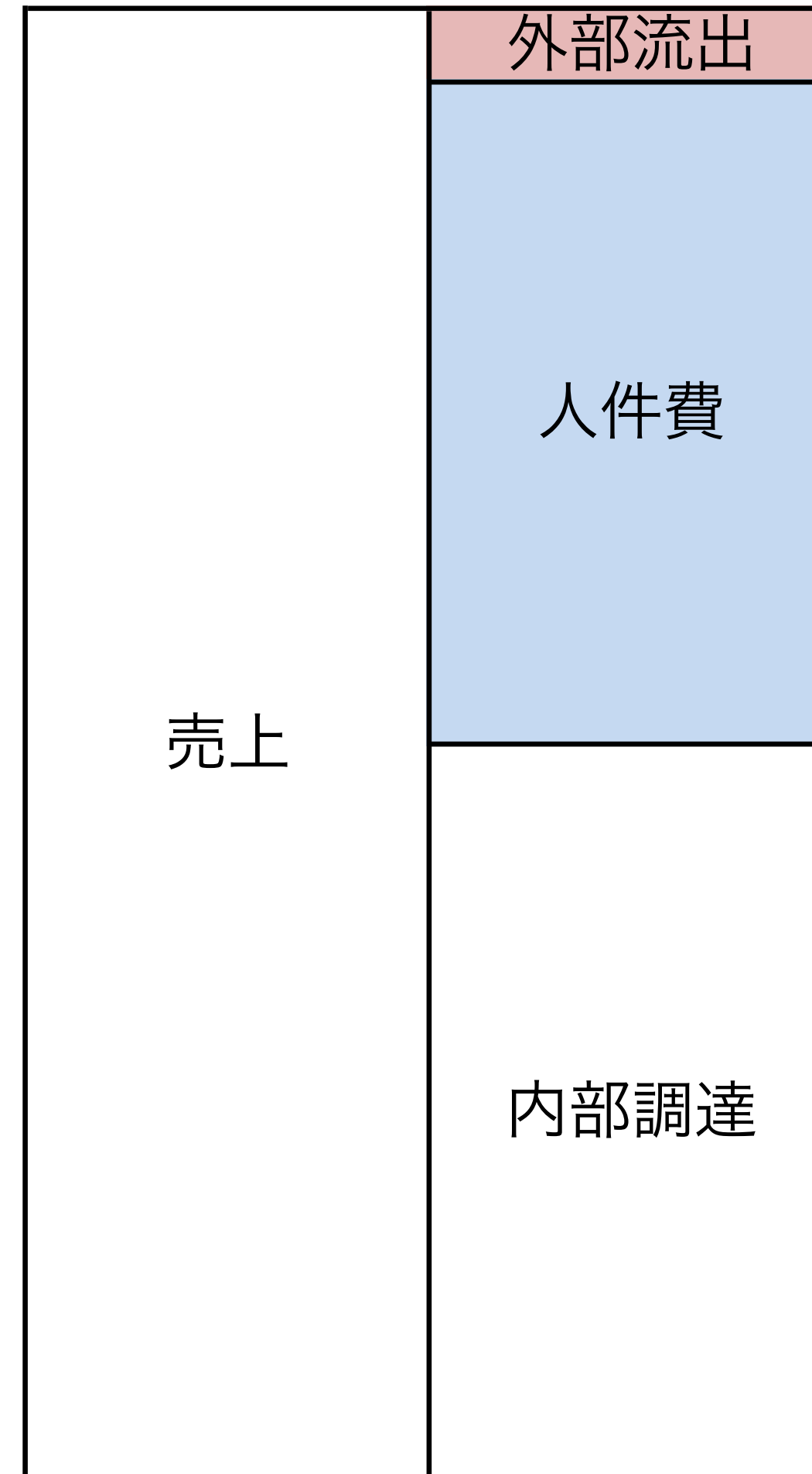


地産地消農家レストランのビジネスモデル

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40



地域雇用増大



地域内部人権比樹 27.5 %

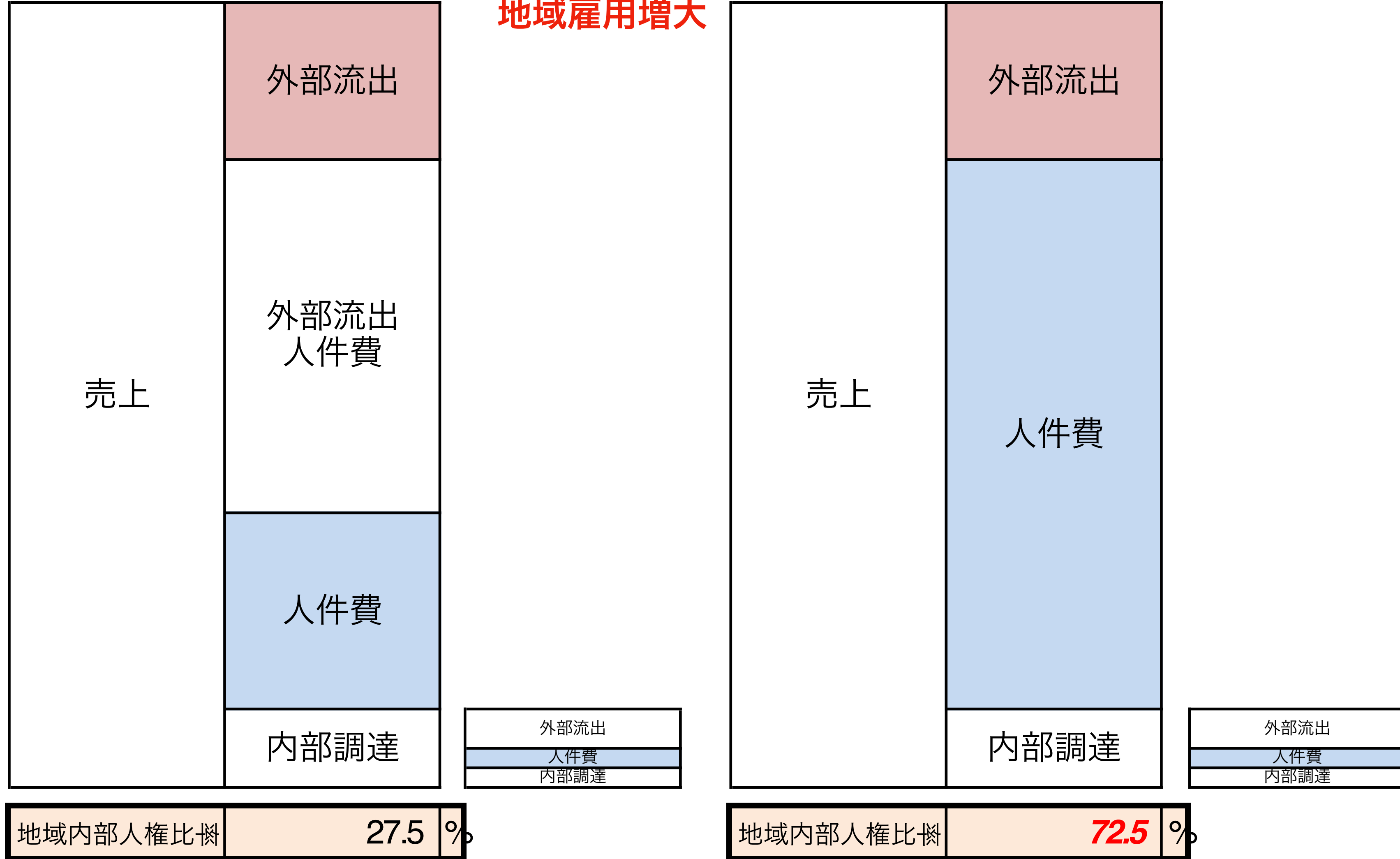
地域内部人権比樹 70.0 %

“LM3”による、地域経済分析（4）

地域外人材中心の高齢者福祉施設  地域人材登田の高齢者福祉施設

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40

地域雇用増大



実際の地域でのシミュレーション

岡山県真庭市中和

人口：約700人

地域内産業一覧					売上内訳			内部調達内訳			
	スタッフ数	公金投入額	付加価値付添	地域主体消費	推定売上額	外部流出	人件費	内部調達	外部流出	人件費	内部調達
《公共サービス》											
中和小学校	10	100,000									
中和保育園	5	50,000		6,000							
地域支所	1	10,000									
地域社協	3	20,000									
地域医療 湯原病院?)	1	20,000		10,000							
中和浄化センター		20,000									
インフラ整備		10,000									
除雪		10,000									
その他		5,000									
《民間事業》											
郵便局	2		10,000	1,000	150,000	100,000	4,000	1,000	500	300	200
農協	2		10,000	1,000	200,000	50,000	90,000	10,000	7,000	2,000	1,000
ハッスルカーちゃん工房		1,000	4,000	500	5,000	500	3,500	500	100	300	100
《民間事業》											
津黒高原荘	10	12,000	20,000	1,000	72,000	50,000	15,000	7,000	3,000	2,000	2,000
あしたか	1.5	3,000	5,000	1,000	10,000	2,000	5,000	3,000	500	2,000	500
楽時屋	2		4,000	500	5,400	500	4,000	900	100	700	100
中和の隠れ家	1		1,500								
ばばらぎ農園	2	3,000	25,000	500	30,000	10,000	10,000	10,000	5,000	4,000	1,000
蒜山耕芸	2	3,000	5,000	500	10,000	5,000	4,000	1,000	100	800	100
専業農家	19	50,000	19,000	28,500	150,000	45,000	100,000	5,000	3,000	1,000	1,000
その他の地域内農業付添	110	50,000	50,000	55,000	55,000	5,000	40,000	5,000	100	300	100
松井豆腐	1		2,000	400	3,000	200	2,400	400	100	200	100
森田酒店	1		5,000	10,000	10,000	5,000	4,000	1,000	500	300	200
中和土木	2	10,000	5,000	6,000	10,000	5,000	4,000	1,000	500	300	200
中谷自動車	1		5,000	10,000	10,000	5,000	4,000	1,000	500	300	200
中島産業GS	1		5,000	15,000	15,000	9,000	5,000	1,000	500	200	100
なかしま建設	2	10,000	5,000	6,000	15,000	9,000	5,000	1,000	500	300	200
石坂モーターズ	1		5,000	10,000	10,000	5,000	4,000	1,000	500	300	200
森田商店	2		5,000	15,000	15,000	9,000	5,000	1,000	500	300	200
★青色は地域内消費中心											
					round1	round2	round3				
					775,400	315,200	308,900	50,800	23,000	15,600	7,500

地域産業の総売上中**43.8%**が、
地域外へ流出

“穴の空いたバケツ”の実体

地域住民の人件費（収入）の
71.3%は、地域外部から

外部流出合計 (千円)	338,200
外部流出割合(%)	43.6

人件費合計 (千円)	324,500
人件費比率(%)	41.8

	千円	比率%
地域家計収入	1,129,500	100.0
地域内人件費	324,500	28.7
年金	290,400	25.7
地域外発行人件費	514,600	45.6
外部依存人件費	335,800	71.3

《地域内産業一覧》

	スタッフ数	公金投入額	付加価値付冊	地域主体消費
《公共サービス》				
中和小学校	10	100,000		
中和保育園	5	50,000		6,000
地域支所	1	10,000		
地域社協	3	20,000		
地域医療 湯原病院?)	1	20,000		10,000
中和浄化センター		20,000		
インフラ整備		10,000		
除雪		10,000		
その他		5,000		
《民間事業》				
郵便局	2		10,000	1,000
農協	2		10,000	1,000
ハッスルカーちゃん工房		1,000	4,000	500
《民間事業》				
津黒高原荘	10	12,000	20,000	1,000
あしたか	1.5	3,000	5,000	1,000
楽時屋	2		4,000	500
中和の隠れ家	1		1,500	
《民間事業》				
ぱぱらぎ農園	2	3,000	25,000	500
蒜山耕芸	2	3,000	5,000	500
専業農家	19	50,000	19,000	2,000
その他の地域内農業付冊	110	50,000	50,000	5,000
松井豆腐	1		2,000	
森田酒店	1		5,000	1,000
中和土木	2	10,000	5,000	
中谷自動車	1		5,000	1,000
中島産業GS	1		5,000	15,000
なかしま建設	2	10,000	5,000	6,000
石坂モーターズ	1		5,000	10,000
森田商店	2		5,000	15,000
★青色は地域内消費中心				

《人口データ》

人口	596	人
世帯数	251	世帯
就業人口 (重複)	574	人
15~64才	277	人
15才未満	77	人
15才以上学冊	11	人
65才以上	242	人
75才以上	131	人

★実質400人強?

★65才以上も就業?

★高齢化冊 40.6%

《家計データ》

地域家計収入	1,129,500	千円)	450万円/世帯
年金収入	290,400	千円)	10万円/月 ←
年金以外収入	839,100	千円)	ほぼ外部から)
《家計データ》			
地域家計消費	1,004,000	千円)	400万円/世帯
可処分所得	803,200	千円)	
税 社会保障費	200,800	千円)	
消費税支払	64,256	千円)	

《地域内エネルギー・食料費》

エネルギー費	251,000	千円)
食料費	180,720	千円)

《地域内エネルギー・食料購入》

地域外での消費は、81.4% !!
 (「穴の空いたバケツ」の実体)

183	387,000	190,500	149,400
(人)	千円)	千円)	地元消費)

653,800
 地域外部で消費)

外部消費冊 (%) 81.4

内部消費冊冊 (%) 18.6

不足分は、国 県 市から

何を内部化出来るか??

• • • 続いて • • •

地域経済活性化手法

企業誘致と地域自給率向上を例として

“LM3”による、地域経済シミュレーション（1）

人口3,000人の町に……

- ◆ 従業員100人（地域内20人雇用）の**企業誘致**に成功した場合……

単位)

人口	3,000	人	比(%)
高齢者)	900	人	0.3
(小中学併)	360	人	0.12
高校併)	90	人	0.03
大・専等)	120	人	0.04
就業可能)	1,530	人	0.51
世帯数	1,000	世帯	

従業員数100人の外部資本企業 単位) 比(%)

年商	2,000,000	千円	
<i>round 1</i>	2,000,000	千円	
外部流出	1,500,000	千円	0.75
人件費 地域外)	320,000	千円	0.16
人件費 地域内)	80,000	千円	0.04
内部調達	100,000	千円	0.05
<i>round 2</i>	80,000	千円	

単位) 比(%)

外部流出	40,000	千円	0.4
人件費	40,000	千円	0.4
内部調達	20,000	千円	0.2
<i>round 3</i>	40,000	千円	

家計収入			
公金)	1,500,000	千円	0.3
年金)	1,000,000	千円	0.2
民間)	2,500,000	千円	0.5
合計)	5,000,000	千円	

単位)

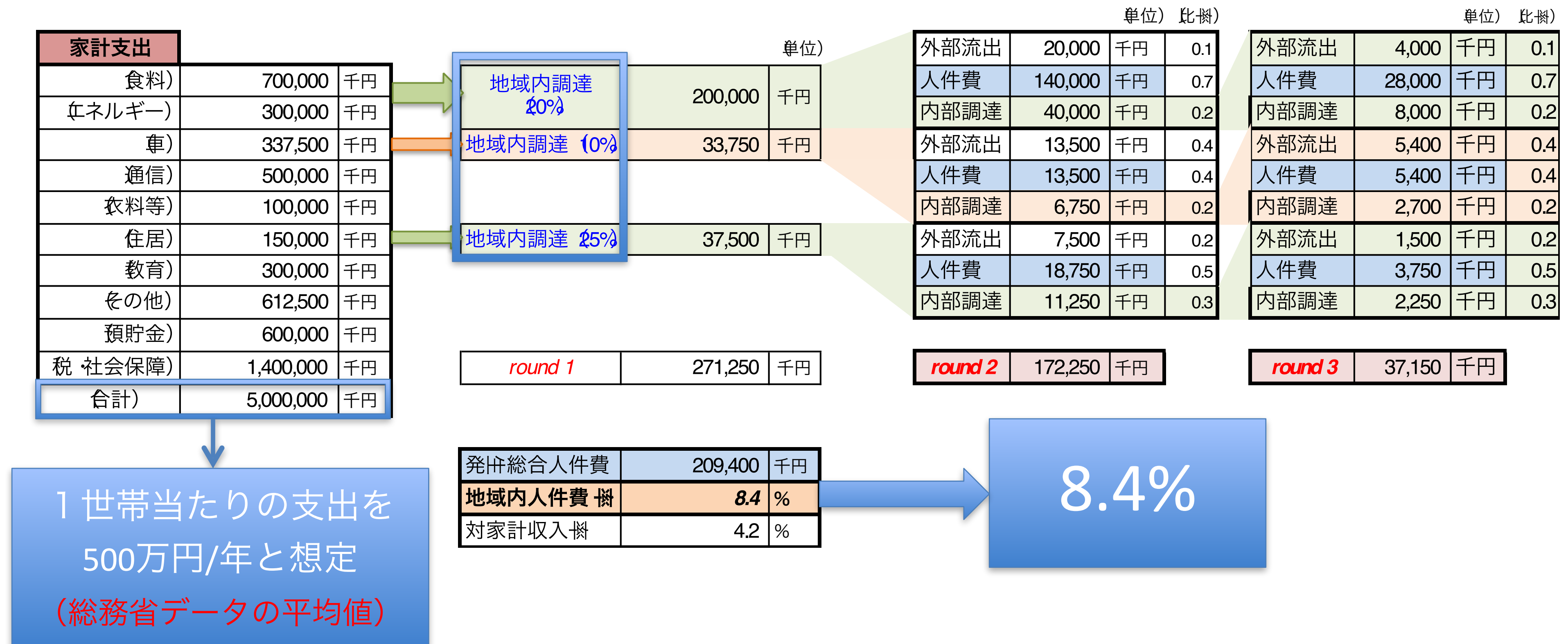
発件総合人件費	120,000	千円
地域内民間人件費 割	4.8	%
対家計収入割	2.4	%

4.8%

我が家の近くの工業団地にM電機が！
しかし、CAD/CAM技術者が地域にいないため、地域外から雇用

“LM3”による、地域経済シミュレーション（2）

- ◆ 食、エネルギー、車、住居等を地産地消した場合……



この”LM3”という手法を用いて、地域経済全体を妄想することができる

何がわかるかということ・・・

- ・ 地域にどのようなお金が入っているか
- ・ 地域からどのようなお金が出ているか
- ・ バケツの穴の正体は何か
- ・ **バケツの穴を塞げば、地域雇用は増大する**

* 興味のある人は、教科書っぽいものを作ったので、差し上げます！
(次回に持ってきます！)

地域経済の状況、何となくわかりましたか？

結論は、「バケツの穴」をどのように埋めるか、でした。

しかし、この論理のベースには、「**非貨幣経済**」は有りませんでした！！

とても分かり易くて使い易い論理なのですが、どうやら、

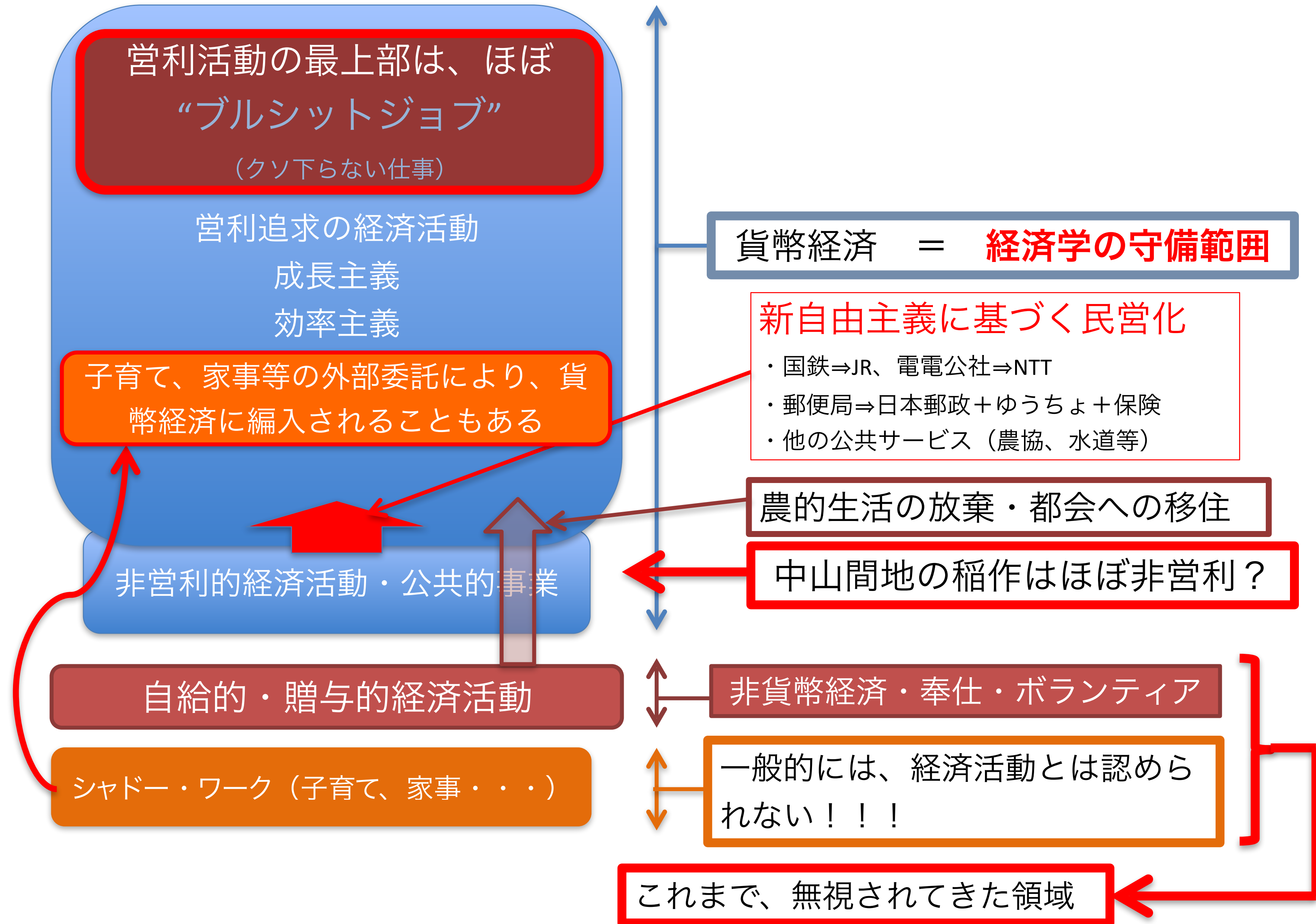
NEFには、「**自給**」 (**非貨幣経済**) の概念がないようです！！

今一度、「非貨幣経済」の重要性を考える

前回の復習

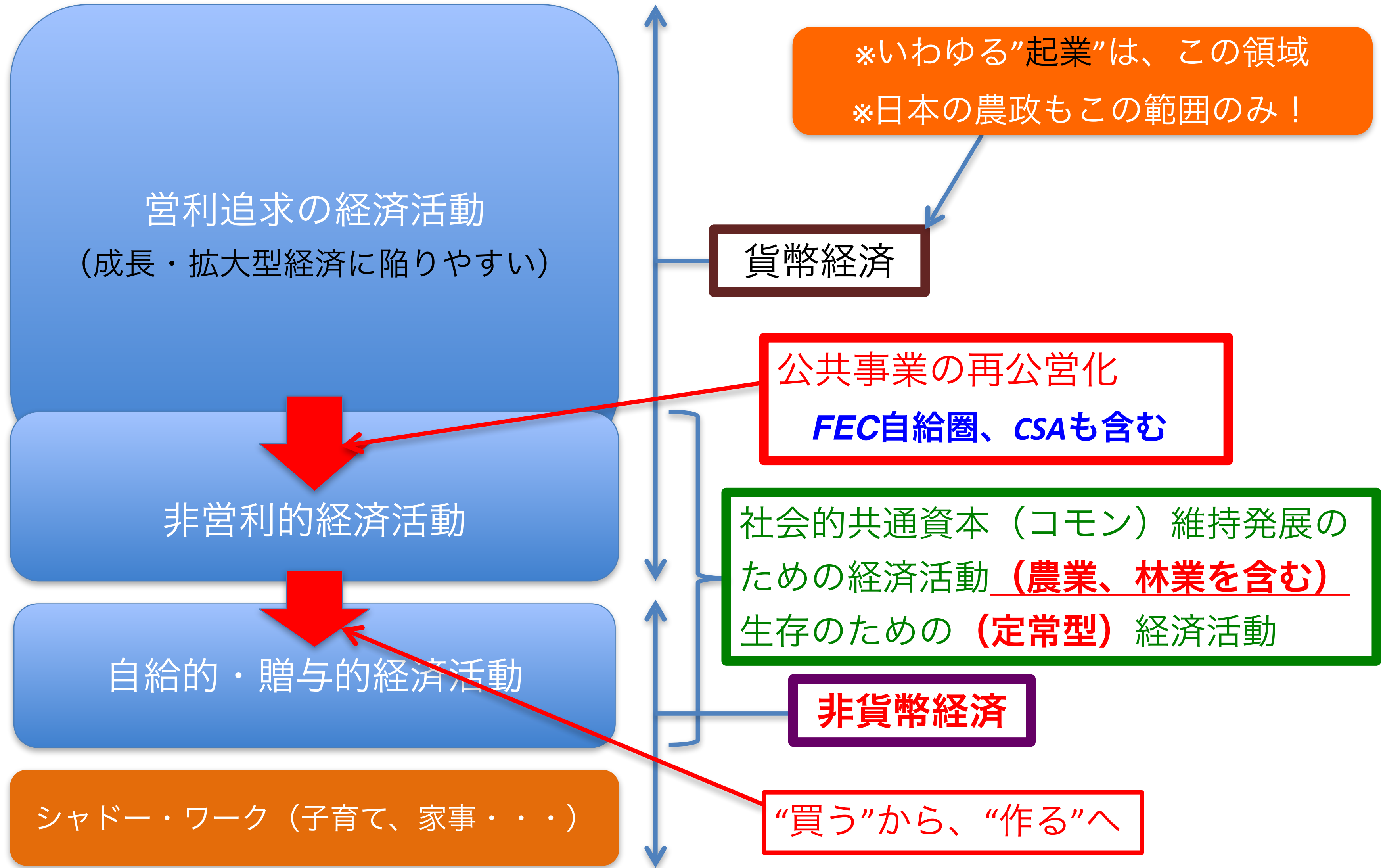
これまでの経済構造

(農村を捨て都市へ・シャドーワークの外部化・新自由主義)



新たな経済構造試案

(非貨幣経済も含める)



※いわゆる“起業”は、この領域
※日本の農政もこの範囲のみ！

貨幣経済

公共事業の再公営化
FEC自給圏、CSAも含む

社会的共通資本 (コモン) 維持発展の
ための経済活動 (農業、林業を含む)
生存のための (定常型) 経済活動

非貨幣経済

“買う”から、“作る”へ

シャドー・ワーク (子育て、家事...)

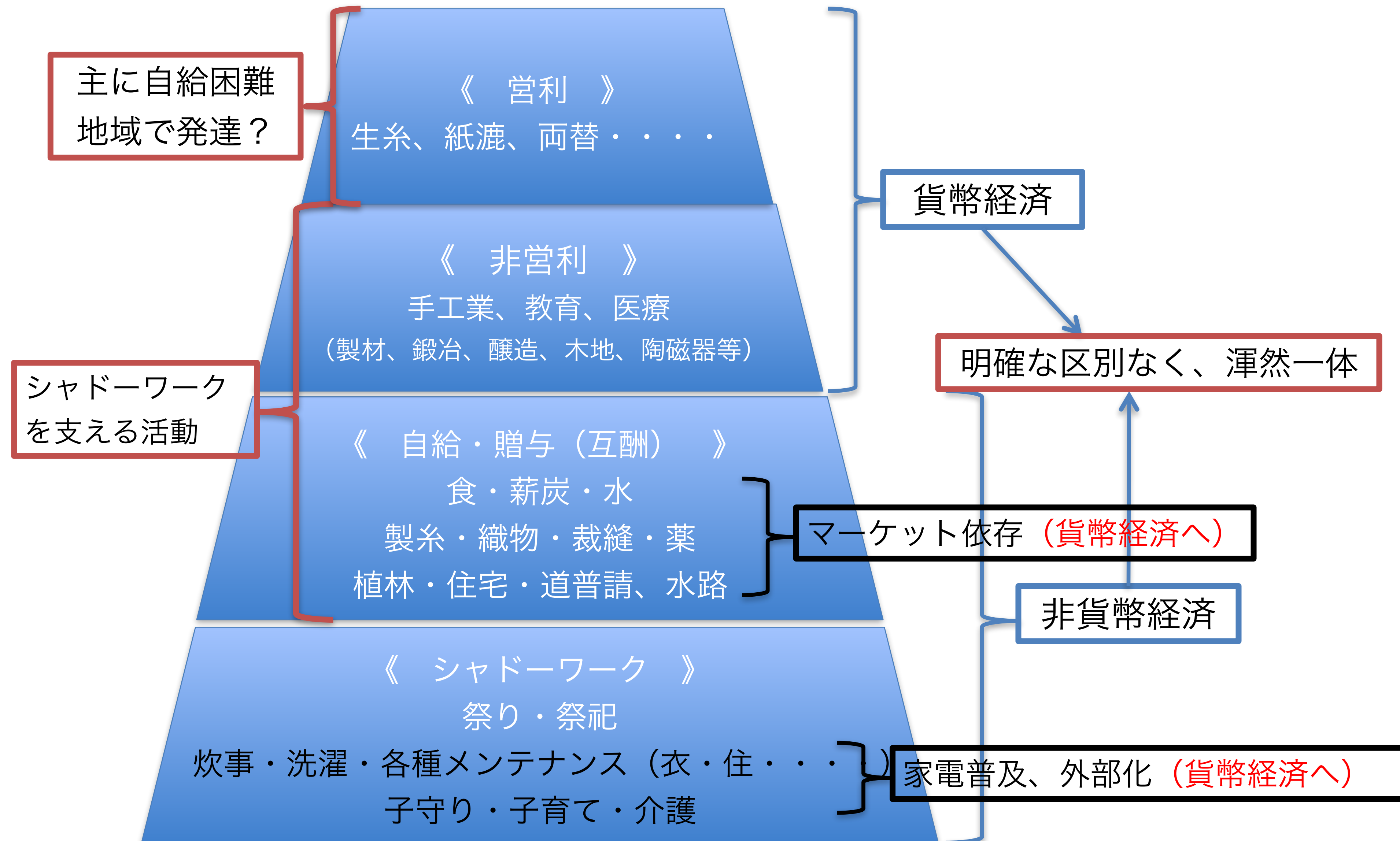
営利追求の経済活動
(成長・拡大型経済に陥りやすい)

非営利的経済活動

自給的・贈与的経済活動

ひと昔前の経済構造（**お金を使わない生活があった**）

（フィールドワークで少しは分かったかも？）



ここで一つ、情報提供します！

皆さんは、**シューマツハ**、ご存知ですか？

1973年に“**Small is Beautiful**”を書いた人です
(**ケインズの一番弟子だった**とか？)

様々な話題が詰まった本ですが、
ここでは彼が提唱した「**仏教経済学**」を紹介します

改めて、「仏教経済学」の価値を再認識する

『スモール・イズ・ビューティフル』（シューマツハ、1973年）

四諦・八正道とは何か（お釈迦様が初めて弟子に語ったこと）

四諦：苦諦（人生は苦である）

集諦（苦には原因がある）

滅諦（苦は滅することができる）

道諦（苦を滅する道は八正道）

八正道：苦を滅する道を解く

正見、正思、正語、正業、**正命**、正精進、正念、正定

この中で、「**正命**」が、**正しい生活**を意味する

（「**正しい生活**」とは、ざっくり言うと禅僧のような生活??）

もしかすると、「**正しい生活**」が、**本当の幸せ**かも知れない？

シューマッハがまとめた 先進国社会の全貌

- 1)無用の行為
- 2)信仰の欠如
- 3)薄れた道徳性
- 4)貪欲な消費
- 5)金銭的無責任
- 6)感情を抑制できないこと
- 7)身勝手な意見に基づく個人主義
- 8)暴力
- 9)不毛
- 10)自他の生命・財産への尊敬の欠如
- 11)性の悪用
- 12)広告宣伝による言葉の墮落
- 13)宗教の商業主義化
- 14)集団ヒステリ-やあらゆる種類の「呪縛」による民心の条件付けと迷信への仲介
- 15)公共の事柄における賄賂や暗躍
- 16)偽善
- 17)物質面における不誠実
- 18)悪戯に不和を助長
- 19)あらゆる意思伝達手段の歪曲と破壊
- 20)最低級で最も愚劣な大衆感情の悪用
- 21)血縁・国・選ばれた友人・誓いを立てた中世など根本的なものに対してすらなされる裏切り

そして、**経済**とは、「**正しい生活**」をするための仕組み！

と、シューマツハは考えていた。

これが、「**仏教経済学**」

必要以上に物を欲しがらない（**足るを知る**）

欲をコントロールしてこそ、「**大人**」

この精神が、**仏教経済学**の基本

最後に・・・

もう一度、日本の状況を確認

(参考) 所得格差は広がるばかり → 「子供の貧困」の拡大

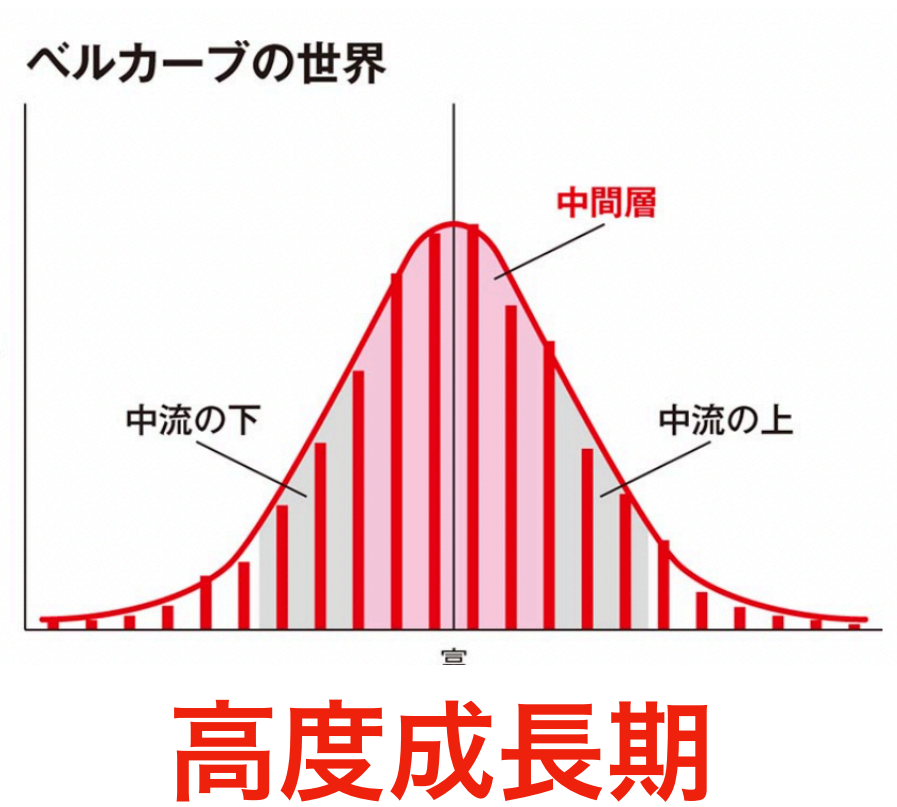
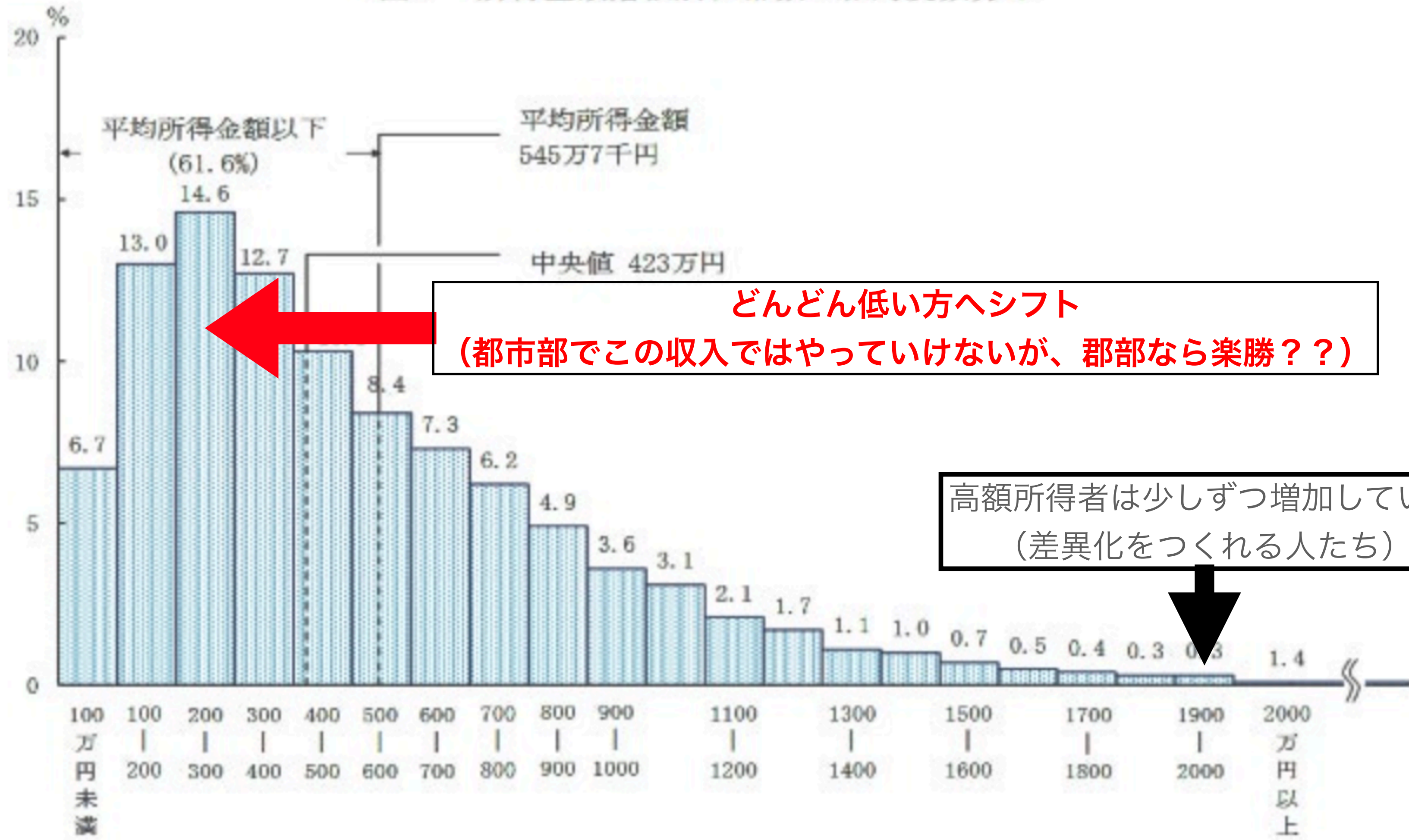


図9 所得金額階級別世帯数の相対度数分布

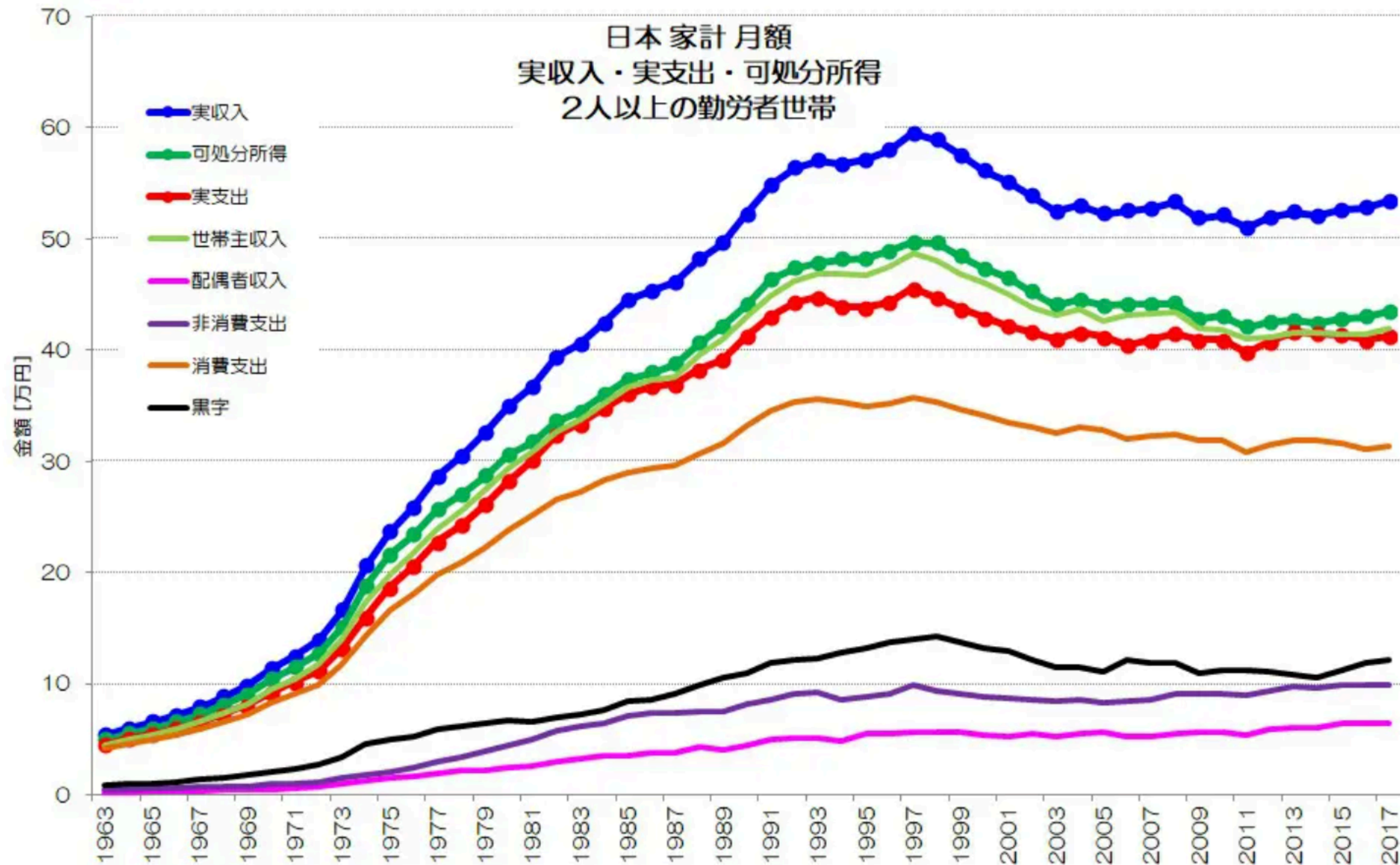


2018年と2021年を比べると、平均所得金額は 6.6万円ダウン、中央値は 14万円のダウン。

厚労省データより、駒宮加筆

(参考) 今後、再び高度成長期のような「成長」は有り得ない！！

(1995年で、「経済成長社会」は終焉を迎えたのでは?)



「家計調査 収支編」を基に作成
「1世帯当たり年平均1か月間の収入と支出 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯」の数値

1985年以降に生まれた人たちは、「経済成長」を知らない！！

振り返ると、1975年以降、日本人のほとんど全てが、
「ノンポリ」 + 「ミーハー」 になってしまった・・・。

(ミーハー：軽薄で流行に左右されやすい人たち)

ビジネスモデルだけが先行する社会に、持続可能性はありません！

残念ながら (**ドーナッツ経済学が証明したように**)、
ヨーロッパが作り出した「近代文明」には、**持続可能性はありませんでした。**

本当の持続可能性は、

元々 **自給経済**が中心だった**アジア**から発信する必要があるような気がします。

田舎に住もうが、都会に住もうが、
「**買う**」から「**つくる**」へ

もう一步、前に進もう！

ご静聴ありがとうございました！